

# NPO法人 共に歩む市民の会 会 報

2015年 9月1日 発行

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第44号

〒241-0022

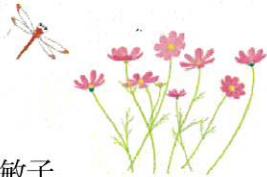
横浜市旭区鶴ヶ峰2-1-16

☎045-953-6727

わけ

## 私がここに戻ってきた理由

小田 敏子



のっけから私ごとで恐縮だが、私は今年、6回目の干支を迎えた。年をとって良いこと、悪いこと、人によって様々なのだろうが、私にとって大きいことは、好奇心が少しずつ薄らいできていることだ。

漫画コミックを読まなくなったこと、週刊誌を読まなくなったこと、阪神タイガースの試合を見そこなうのもよっちゅう、とあげたのはほんの一端、何か世界が、（実世界も、精神世界も）小さくなっているように思える。

そんな私に火をつけたのは、ほっとぽっと周辺から聞こえてきた話である。「ほっとぽっとがA型になるかも」「A型をほっとぽっとが出来るかどうかわからない」。

噂話のたぐいかもしれないが、いかにもありそうに思えるのが昨今の情勢である。こんな時に安閑とはいられない。もうすでに決まっている「共に歩む市民の会」の理事に葦の会枠から差し替えてもらって、すべり込んだ次第です。「共に歩む市民の会」の理事の方や事務局の方には大変ご迷惑をかけました。その分、しっかりと働きますので御容赦を！

「ほっとぽっと」は今年10周年を迎える。その前身である「たまり場」は平成9年の夏に誕生しているからもう18年にもなる。

思いがけず借りることになった古民家に惹かれ、何とか活用できないかと、当事者、家族、関係者が、暑さの中、三日と置かず集まってケンケンガクガクとやっていたあの夏。

時間や、力、知恵、お金等々、それぞれが持てるものを持ち寄って作り上げた「たまり場」は、「ほっとぽっと」の原点なのだろうと私は思う。

今、生活支援センターをとりまく情勢は、総合支援法の計画相談や横浜市が打ち出している「基幹相談支援センター構想」にみられるように、変わろうとしているように思える。

変わることは悪いとは思えない。ただ、変わることが、利用者や職員や、運営する人たちにとって、どのような意味があるのか、気にかけていきたいと思っている。

以上が私が「共に歩む市民の会」の理事に戻ってきた理由です。



## 第11回通常総会報告

ほっとぽっと職員 郡山 隆行

平成27年6月27日(土)に、ぱれっと旭・2階多目的研修室におきまして、特定非営利活動法人 共に歩む市民の会 第11回総会が行われました。正会員87名(含む団体会員)のうち、34名の出席者と26名の方が委任状を提出され総会は成立をみました。この結果を次のとおり報告いたします。

総会議事討議の大枠からお話をさせていただきます。

精神に障害をもっても安心して生活できる場をつくっていくために、当事者、家族、関係者、職員が知恵を出し合ってたまり場をつくっていくことが「共に歩む市民の会」の原点ですが、この数年、「計画相談」をはじめとして、ひとり、ひとりの相談支援が焦点化してきているため、「共に歩む市民の会」が運営する「ほっとぽっと」に生活支援センターとしての期待されている役割も大きく変化を迫られています。

そのため、今後の「ほっとぽっと」が何を目指していくべきか、2013年より発足したあり方検討会の議論を旭区全体の精神保健福祉の状況を踏まえるまで発展させ、「共に歩む市民の会」及び「ほっとぽっと」の支援を具体的にどのようにしていくのかを考えています。

また、期待される相談支援に対応できる機能にするため「ほっとぽっと」では、相談、拠点というふたつのチームにスタッフを分け、電話相談担当配置、ピアスタッフを担う方々の育成、ランチ運営をメンバー・ボランティア主体にするなど、たまり場の運営を円滑に行いつつ、相談支援にスタッフが対応できる体制づくりがはじまりました。

こうした方向性を事業に反映するために2014年度に行った事業と決算、2015年度に行おうとする事業とその予算等が次のように各議案として討議・決議されました。

**第1号議案**では、2014年度の「共に歩む市民の会」に関する事業の報告です。

法人の諸活動、旭区地域生活支援拠点「ほっとぽっと」の活動、昨年度で事業が終了し旭区から受託されていた「精神障害者地域交流促進事業」、横浜市より受託している「障害者自立生活アシスタント事業」の順で各事業の報告をいたしました。

**第2号議案**では、計画相談の収入に関する横浜市のルールと計画相談の件数の説明に力点が置かれていました。計画相談の件数については、前述したように相談支援の体制を整えている途上で、並行して取り組みを進めている説明をいたしました。

**第3号議案**では、10周年を迎えた「ほっとぽっと」の10周年事業について説明がされました。また、今まで「ほっとぽっと」の事業であった地域生活支援モデル事業(宿泊支援)と当事者クラブ(旭ぴあくらぶ)のふたつが法人事業に移行したことの報告をしました。

制度上の相談支援が脚光を浴びているものの、その支援を支えているサービスにつながるまでの支援(フリースペースでの支援等)を重要な土台と位置付けて行くことの説明が行われました。

**第4号議案**では、10周年事業をはじめとした第3号議案で説明させていただいた内容を具体化するための予算案の説明をしました。

**第5号議案**では、村岡福蔵氏・小田敏子氏が新しい理事になることが提案されました。

以上の第1号～5号議案については理事会案が可決・承認されました。

次に昨年度より配置されました電話担当職員、及び昨年度採用された非常勤職員の紹介がありました。

最後になりますが、今期で退任されました理事の皆様、今まで「共に歩む市民の会」の運営にご尽力をいただき本当にありがとうございました。



## 総会に参加して

大崎晃伸

ほっとぽっとで週一回事務のアルバイトをしている大崎と申します。

ここ4年ほど、共に歩む市民の会の総会に参加させていただいています。

第一部では、ピアスタッフ・職員の方々が、ポイントをついた形で次々に事業報告をされます。ほっとや共に歩むは、本当にたくさんのことを行なっているのだと感じる瞬間です。近年は、市からの要請で新しく始めていく事業、逆に整理を検討せざるをえない事業とがあり、その中で、これまでのほっとぽとのよさをどう守り、同時にどのように生まれ変わっていくのか、その課題が総会でも伝わってきました。

第二部は、さまざまなお話をゲストにお招きした研修を行なっています。埼玉や東京の施設の職員の方々から設立の経緯をうかがったり、大阪へのピアスタッフ研修の報告会を行なったり（この時の「ピアって何やねん？」というタイトルが忘れられません）、そこから、ほとの活動や、旭区という地域の精神保健福祉に活かせるものを学びとろうという趣旨であろうと思います。今回はまず、あけぼの会の浅田和徳様から、ご家族が必要とされている支援についての要望調査アンケートのご報告があり、続いて、保土ヶ谷区で精神科訪問看護の活動されている「てとて」の皆さんからお話を伺いました。「どこにもつながれず、困っている人が増えている」と浅田さんは強調されました。私は作業所の職員もありますが、正直なところ、日々顔を合わせるメンバーを支援し、共に生活していくこと以外は今まであまり見えていませんでした。通院・通所が難しい当事者の方と、支援やサービスとつながらないまま支えおられるご家族の方が、旭区には多くいらっしゃること、あらためて認識いたしました。私にできることはいか、考えるきっかけをいただきました。

もう一つ総会で印象に残ることといえば、質疑応答時、深井理事長が、マイクを持って会場を爆走する姿です。転ばれないか、心配しております。いつも、ありがとうございます。



# 10周年記念企画「共に歩む、創る」を巡って —共に歩む市民の会10周年企画実行委員会顛末記—

実行委員長 堀口 和実

平成27年4月11日に第1回実行委員会が立ち上がり、ほっとぽっと別館で、毎月1回メンバーが集まり、8月8日の第5回実行委員会に到り、やっと何とか形になりそうなのでほっと一安心といったところです。まずここに到った経緯を振り返ると、発端は、ほとたつはな亭の企画委員会で、Mさんが「是非見てもらいたい映画があるので映画鑑賞会をやりませんか?」この一言からスタートしました。

その映画が「共に歩む市民の会10周年企画で上映する2008年ヴズール国際アジア映画祭観客賞(ドキュメンタリー映画最優秀賞)受賞作品の「破片のきらめき」です。

まず企画委員対象の上映会を開催しました。鑑賞した結果、ほとたつはな亭の一企画としてほとぽととの別館で10-15人程度規模の上映会を開き、ほとぽとの利用者さんや地域のみなさんに鑑賞して頂き、上映後、映画についてみんなで語り合いたいですね。そんな程度のことを考えていたのです。それが、共に歩む市民の会10周年の目玉企画となり、上映場所も約200名規模が収容できる旭区区民文化センターサンハートで開催となるとは、誰も想像だにしていませんでした。その流れから、何となく10周年記念企画の実行委員会は、「ほとたつはな亭の企画委員(ボランティア、ピアスタッフ、職員で構成)」を中心に動きだしたのです。そのメンバーに「当事者」「家族会」「ボランティア」「共に歩む市民の会理事」「共に歩む市民の会事務職員」が加わり総勢15名で今日に到っているわけです。

某日の実行委員会の活動の一環を紹介しましょう。

Hさん(ポスターのデザイン担当委員):デザインを考えているのだが、「イベント名」がないとイメージがわかない? どんなタイトルか教えて?

実行委員長:エッ! タイトルいるの? 「10周年記念 映画上映会」しか考えてなかったけど...、そうだね、言われてみればタイトルは必要だよね。みなさん、どんなタイトルにする?」

...それから小一時間位意見交換し、タイトル名がいくつか出された後...

Aさん:共に歩む市民の会10周年だから、「共に歩む」入れたいね

Bさん:映画が造形教室を撮っているのだから、創造はどう?

Cさん:創造は硬すぎない、創るではどうだろう?

Dさん:ふたつを併せて「共に歩み、創る」ではどう?

Eさん:あまりにも、拙速すぎない?

Fさん:ふーん...、でも二つのコンセプトが入っていて、なかなかいいのでは、それでいきましょう!

舞台裏をご披露するとこんな具合でタイトルが決ましたでした。

委員会メンバーは「楽しく、できることをやりましょう」のスローガンの下「創りあげる作業」を積み上げつつ、最後の追い込みに頑張っています。

どうかご期待ください。

当日、多くのみなさまにお会いできること楽しみにしております。

是非、観に来てくださいね!



# 当事者アンケートにたずさわって あり方検討会・経過報告



ぴあスタッフ 澤田高綱

「当事者が明るく楽しくよりよく過ごすためのアンケート」が完成するまでに1年以上の月日がかかりました。当事者が求めているニーズを聞き出すのにどうやったらよいのか、どんな人に聞けばよいのか、あり方検討会で何度も話し合われ、サンプルを作ってはそれを検討し、何度も作り直し、ようやっと形ができたらこれをどういう位置づけとして行うかというときに、同じくあり方検討会で家族会の方のアンケートが先に完成し、配られ、すでに回収と集計がまとめられた。

それでも当事者アンケートがまだ完成していない理由に、本当にこのアンケートをみて記入してほしいのはだれなのか？もちろん普段顔を合わせている当事者の方々にも聞きたいが、我々が本当に聞きたいのは、どこにもつながっていない人や、病気の認識がなく家で引きこもっている人、さらには病院の長期入院などでどこにも声を聞くことのできない方たちであり、そうした方々に聞いてこそ、が我々がこだわるところである。

それゆえにあり方検討会では、日本社会事業大学の瀧本さんの協力のもと、そのような方たちにもアンケートを配られるようにいろんな方たちとつながりを作ることも同時に進められ、本当の意味で当事者が当事者によるアンケート調査を行うために、「当事者が明るく楽しくよりよく過ごすためのアンケート」というタイトルも当事者の方たちに募集して決めて、ようやっと完成が見えてきました。実際完成してみるとかなりのボリュームと書く欄が多いことで記入してくれるのが心配されましたが、それを踏まえて完成としました。

現在、当事者クラブ（旭ぴあくらぶ）でプレを行い、心配されていた書く欄が多いというのは個人差はあるものの、みなさん熱心に書いてくださり、心配していたことは解消され、まずは家族会を通じて家族会の当事者の方に配り、はーとねっとあさひを通じて、各地域活動センターやほっとぱっとの登録者全員に配り、さらに区役所で行われている旭会にもアンケートを配り、現在毎日のように回収されてきています。

あと残っているのは病院関係と、どこにもつながっていない方へのアンケートが進めばと思っています。8月か9月までには回収を終了し、データや統計の結果が出せればと思っています。皆様の協力をお願い致します。

瀧本さんがんばってね！（嘘）。われわれ当事者がんばります。



# 2015年9月～12月 市民の会・ほっとぽっと スケジュール

今年の秋は盛りだくさん！！ 皆さん、楽しんで下さいませ。

## ★9月 26日 (木) 13:00 『共に歩み、創る～映画とトークセッションの集い～』

旭区民文化センターサンハートホール（横浜市旭区二俣川1-3 二俣川ライフ5F）¥500

小笠原伸子さんのミニコンサートでスタート。

ドキュメンタリー映画「破片のきらめき～心の杖として鏡として～」の上映

トークセッション 出演：高橋慎二（映画監督）、本木健（映画出演者）、

鮎澤のり子（墨彩画家）、和田公一

## ★10月 8日 (木) 14:00 『ほっとたつはな亭 歌声喫茶』 ほっとぽっと別館サロン

演奏と進行：原口陽子さん 料金未定（有料です） 皆で一緒に歌ってみようよ。

## ★10月 23、24、27、28日 11:00～16:00

ほっとぽっと別館サロン

ギャラリー『こころのカタチ展～ふだん言えないあんなことやこんなコト～』

文化班と、平川病院の造形教室の作品の展示と作者も来るかも！？

10周年イベントとして、隣の和室で歴代ポスターや絵手紙等の活動作品も展示予定。

## ★11月 12日 (木) 14:00 『ほっとたつはな亭 サロンコンサート』 ほっとぽっと別館サロン

小笠原伸子さん他横浜バロック室内合奏団メンバーのサロンコンサート

一般¥1,000、市民の会会員 ¥800 障害者手帳をお持ちの方：¥500

## ★12月 9日 (水) 14:00 『ほっとたつはな亭 クリスマスコンサート』 ほっとぽっと別館サロン

Dozen Notes（クラリネットとピアノのデュオです）

一般¥1,000、市民の会会員 ¥800 障害者手帳をお持ちの方：¥500

《理事会報告》(第48回) H27年4月28日(火) 18:30～22:00

[議題]①H26年度事業報告・決算 ②H27年度事業計画・予算 ③理事の選任 ④総会の開催 ほか  
生活支援センターの予算枠が狭められてきていることに伴い、市民の会の事業として継続すること  
などが了承された。

(第49回) H27年7月14日(火) 18:30～22:00

[議題]①新年度事業計画の具体化 ②生活支援センターの今後のあり方について  
③10周年記念事業関係 ④給与規則の改定 ⑤市民の会パンフレット ほか  
今年度の事業の具体化、生活支援センターが、今後どんな位置付けで展開していくのか、全体的な方向性を見ながら今後の在り方を探る必要性などが検討された。

### 編集後記

✿暑い、暑いと言っているうちに、70年の平和が崩れそうな不安・・・(高野)

✿“共に歩む市民の会”の、みんなでつくる“ほっとぽっと”です！みなさんのお知恵とお力をたくさん貸して下さいね♪(広報にも！)(早間)

✿いつも会報にご協力いただきありがとうございます(\*^ω^\*)ご意見ご感想ありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください(清水)